

岡崎市スポーツ推進計画

(岡崎市スポーツ振興計画 中間見直し版)

岡 崎 市

岡崎市スポーツ推進計画 【目次】

| | |
|--------------------------|----|
| 第1章 計画改定にあたって..... | 1 |
| 1-1 計画改定の趣旨..... | 1 |
| 1-2 計画の位置づけ..... | 4 |
| 1-3 計画の推進期間..... | 4 |
| 第2章 現行計画の成果と課題..... | 5 |
| 2-1 現行計画の成果と課題..... | 5 |
| 第3章 計画の基本理念..... | 21 |
| 3-1 基本理念..... | 21 |
| 3-2 スポーツ推進の基本的な考え方..... | 22 |
| 3-3 施策体系..... | 23 |
| 3-4 計画目標..... | 24 |
| 第4章 施策の展開..... | 25 |
| 4-1 スポーツ機会の充実..... | 25 |
| 4-2 スポーツクラブ・団体の活動支援..... | 32 |
| 4-3 スポーツ環境の整備・充実..... | 34 |
| 4-4 人材の育成・体制の整備..... | 37 |
| 4-5 スポーツに関する情報提供の充実..... | 39 |
| 第5章 計画の推進に向けて..... | 42 |
| 5-1 推進体制..... | 42 |
| 5-2 評価・見直し..... | 43 |
| 参考資料..... | 44 |
| 参-1 スポーツに関する市民意識調査..... | 44 |
| 参-2 策定・見直しスケジュール..... | 46 |
| 参-3 委員会名簿..... | 47 |

第1章 計画改定にあたって

1-1 計画改定の趣旨

(1) 岡崎市スポーツ振興計画の策定・推進

本市では、市民の誰もが、生涯を通じて気軽にスポーツを楽しむ環境を整えることにより、スポーツが市民の暮らしに根付き、市民生活においてスポーツライフが定着することを目指し、平成22年3月に「岡崎市スポーツ振興計画」（以下、「現行計画」という。）を策定しました。

現行計画では、基本理念を『スポーツでつなぎ 育む いきいきげんき 岡崎』とし、市民の多様なスポーツへの関わり方に着目し、①スポーツをはじめめる（スタート）、②スポーツで生活を楽しむ（エンジョイ）、③スポーツで生活の質を高める（クオリティアップ）という3つの視点に立ち、スポーツ機会の充実、スポーツクラブ・団体の育成・支援、スポーツ施設の整備・充実、人材の育成・体制の整備、スポーツ情報の提供に取り組んできました。

また、現行計画の計画期間は平成22年度から平成31年度までの10年間であり、その中間年である平成26年度には、取り組みの進捗状況や社会情勢の変化に対応するため、中間見直しを行い、計画の充実を図ることとしています。

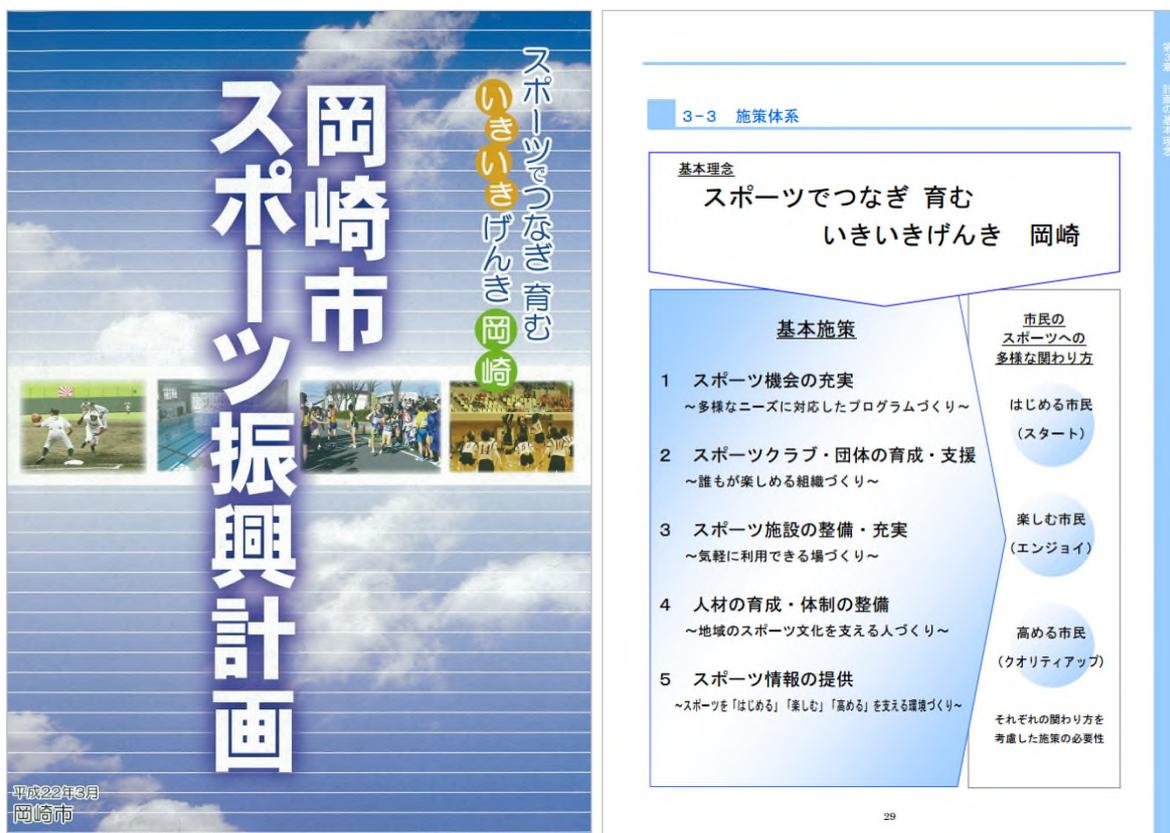


写真 岡崎市スポーツ振興計画（左：表紙、右：施策体系）

(2) 国・県のスポーツ推進に係る動向

国では、平成 23 年 8 月に「スポーツ基本法」が施行され、昭和 36 年に制定された「スポーツ振興法」が 50 年ぶりに全面改正されました。『スポーツは、世界共通の人類の文化である』という言葉から始まる同法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であるとし、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。

平成 24 年 3 月には、同法に基づき「スポーツ基本計画」が策定されました。同計画では、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するため、『年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適正等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること』を基本的な政策課題とし、子どものスポーツ機会の充実、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進といった政策目標を設定しています。また、同法では、地方公共団体はスポーツ基本計画を参酌して、地方の実情に即したスポーツ推進計画を定めるよう努めるものとするとしています。

愛知県では、平成 25 年 3 月に 10 年間程度を見通したスポーツ推進計画「いきいきあいち スポーツプラン ～豊かなスポーツライフの創造～」を策定しています。同計画では、県民一人ひとりがそれぞれのライフステージや興味・関心等に応じて、いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しみ、活力ある『スポーツ愛知』を実現するための基本的な方向性を示しています。

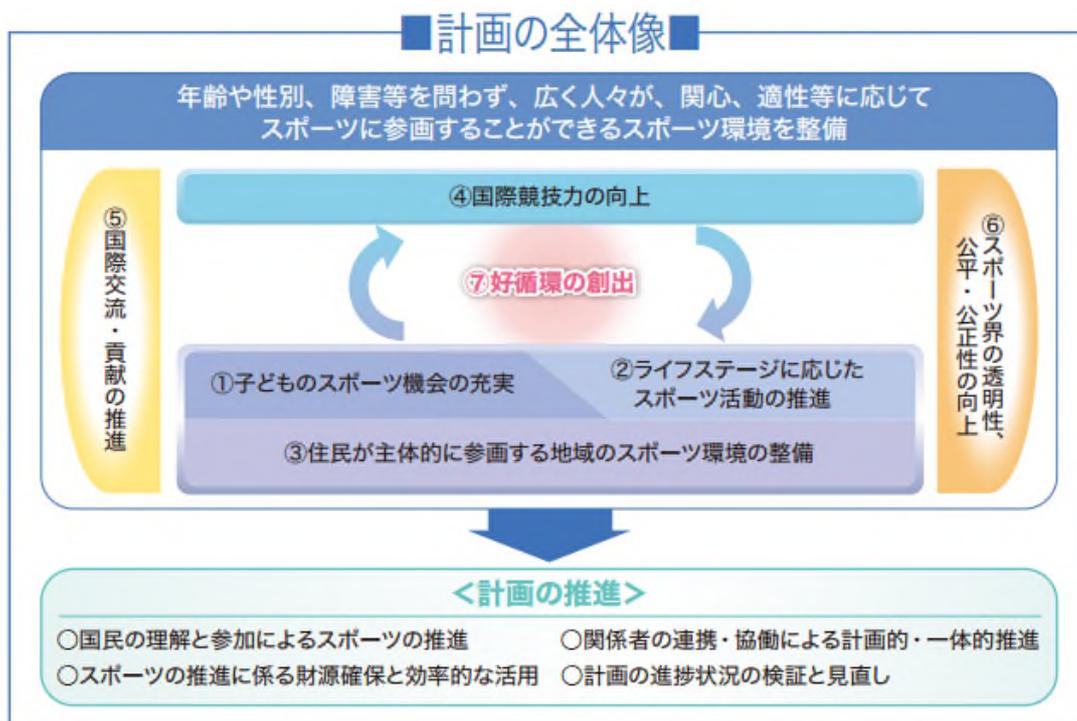


図 スポーツ基本計画の概要

出典：スポーツ基本計画 リーフレット（文部科学省）

(3) 計画改定の意義

近年、少子高齢化や情報化の進展、地域コミュニティの衰退や人間関係の希薄化など、様々な課題が顕在化しています。また、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、地域の支え合いや社会の絆の重要性が改めて認識されました。

スポーツは、心身の健康増進につながるだけでなく、他者を尊重し協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育み、人と人、地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成して地域社会の再生に寄与するなど、様々な課題を抱える現代社会において、大きな役割を果たすことが期待されています。

また、平成 32 年には「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催が決定しており、市民のスポーツに対する興味・関心は今後益々高まっていくと考えられます。

本市では、現行計画の中間年である平成 26 年度に、これまでのスポーツ振興の取り組みの進捗状況を評価するとともに、スポーツに関するアンケート調査で得られた結果や、生涯スポーツから競技スポーツにわたる本市のスポーツをとりまく社会情勢の変化を踏まえた中間見直しを行い、併せて平成 23 年 8 月に「スポーツ振興法」が「スポーツ基本法」として全部改正され「スポーツ推進計画」の策定が地方自治体の努力目標とされたことを受け、「岡崎市スポーツ推進計画」として、計画の一層の充実を図ることとしました。

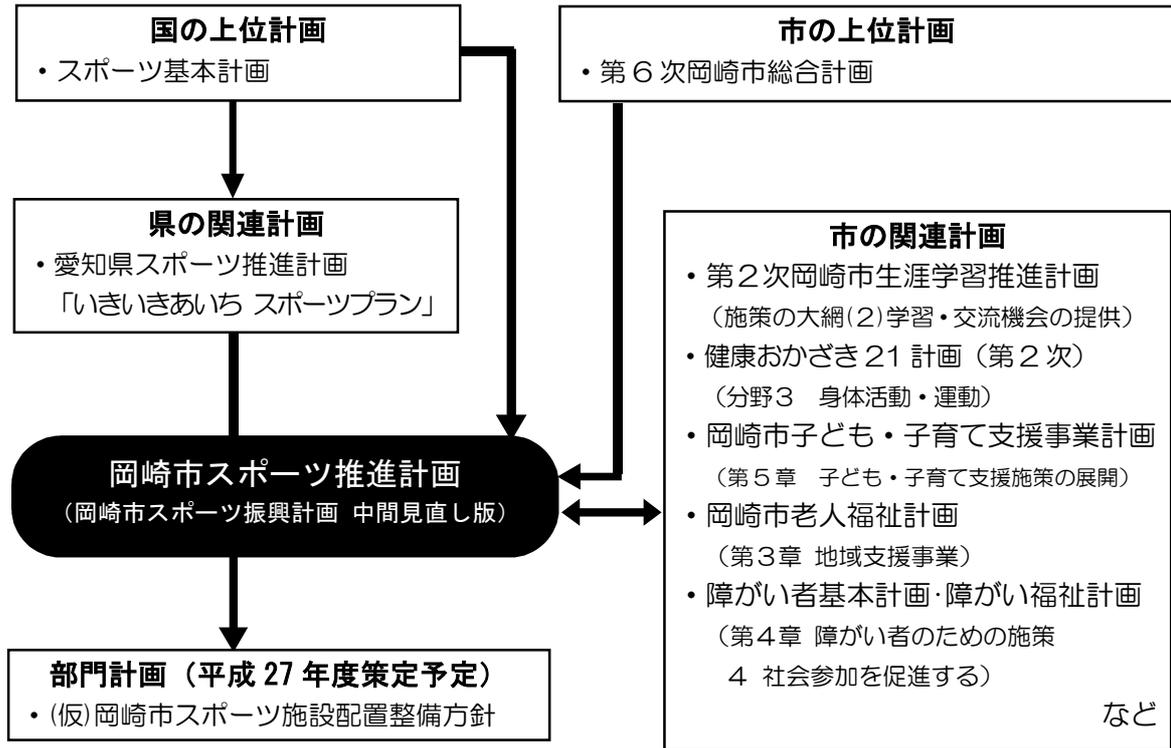


写真 岡崎市スポーツ・レクリエーション祭の様子

1-2 計画の位置づけ

本計画は、国のスポーツ基本法に基づいた「スポーツ基本計画」や、県のスポーツ推進計画「いきいきあいち スポーツプラン ～豊かなスポーツライフの創造～」を踏まえ、従来の振興だけでなく、本市におけるスポーツ推進の理念ならびに方向性を明らかにし、スポーツ推進施策を定めるものです。

また、市の上位計画である「第6次岡崎市総合計画」ならびに、関連計画である「健康おかざき21計画（第2次）」、「岡崎市子ども・子育て支援事業計画」などと連携し、体系的にスポーツ推進を図ります。



1-3 計画の推進期間

計画期間は、「岡崎市スポーツ振興計画」の計画期間の後期5年間にあたる、平成27年度から平成31年度までとします。

| 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-------------------------------|--------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 第6次岡崎市総合計画 (平成21年度～平成32年度) | | | | | | | | | | | |
| | 岡崎市スポーツ振興計画 (平成22年度～平成31年度) | | | | | 岡崎市スポーツ推進計画 (平成27年度～平成31年度) | | | | | |

第2章 現行計画の成果と課題

2-1 現行計画の成果と課題

現行計画は、基本理念を『スポーツでつなぎ 育む いきいきげんき 岡崎』とし、スポーツ機会の充実、スポーツクラブ・団体の育成・支援、スポーツ施設の整備・充実、人材の育成・体制の整備、スポーツ情報の提供という5つの基本施策、さらにはそれらに基づく具体的な事業を定めています。

ここでは、基本方針及びそれらに基づく具体的な事業について、事業内容・取組内容に対する成果と課題を整理します。

(1) スポーツ機会の充実

① スポーツを始めるきっかけづくり

【具体的な事業】

- ア スポーツを「はじめる」プログラムの展開
- イ ニュースポーツの普及
- ウ 地元選手や団体の活躍の紹介・PR

取組

- ア 誰でも簡単に取り組むことのできるレクリエーションスポーツのルールを記載した「スポレクハンドブック」を作成し、スポーツを始めるきっかけとなるよう努めています。
- イ ニュースポーツの普及として、岡崎市スポーツ・レクリエーション祭の開催、スポレク器具の無料貸し出しを行っています。また、出前講座にてニュースポーツの紹介をしています。
- ウ 地元選手や団体の活動状況を市HPや広報誌「市政だよりおかざき」を活用し、市民に紹介しています。また、全国大会等に参加する選手に対して、市長表敬を行っています。

成果

- ・スポレクハンドブック改定 500部作成（平成27年3月）全スポーツ推進委員へ配布。
- ・ニュースポーツ器具貸出し日数（全15種目累計日数）

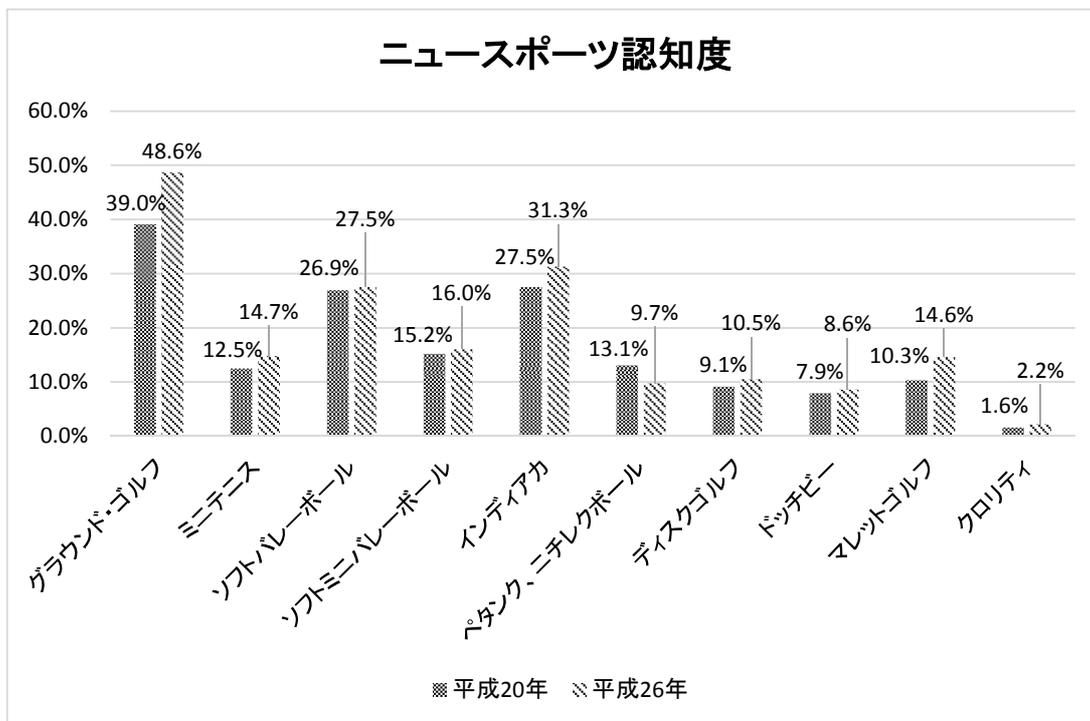
| 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 389日 | 631日 | 549日 | 493日 |

- ・全国大会等に出場する選手や団体に対しての市長表敬件数

| 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 12件 | 12件 | 20件 | 14件 |

課題

- ・貸し出しスポレク器具が老朽化しており、計画的に更新する必要があります。
- ・ニュースポーツの普及については、前回調査と比較し、認知度が高くなりましたが、10%前後の種目が多く、今後も継続して普及に努めていく必要があります。



出典：岡崎市 スポーツに関するアンケート調査

② 気軽に楽しめるスポーツプログラムの提供・充実

【具体的な事業】

- ア スポーツ大会・イベントの充実
- イ スポーツ教室・スポーツ大学の充実
- ウ ニュースポーツの推進

取組

- ア 岡崎市が主催する事業として、岡崎市スポーツ・レクリエーション祭や岡崎市民体育祭、交通安全 岡崎市民駅伝競走大会等を行っています。また、スポーツ推進委員連絡協議会の自主事業として、スローピッチソフトボール交歓会、学区交歓ソフトミニバレーボール大会、(公財)岡崎市体育協会の自主事業として、トレジャーラリー、ラジオ体操などが行われています。
- イ 岡崎市体育協会による各種目のスポーツ教室の開催やスポーツ大学の開催を支援しています。
- ウ ニュースポーツの推進として、岡崎市スポーツ・レクリエーション祭の開催、スポレク器具の無料貸し出しを行っています。また、出前講座にてニュースポーツの紹介をしています。

成果

・各種大会参加者の推移

| | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | 傾向 |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 岡崎市スポーツ・レクリエーション祭 | 1,586 | 1,707 | 1,559 | 1,462 | 1,334 | ↘ |
| 岡崎市民体育祭 | 7,000 | 7,000 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | → |
| おかざきマラソン | 2,193 | 2,908 | 3,075 | 5,255 | 5,503 | ↗ |
| 交通安全 岡崎市民駅伝競走大会 | 1,836 | 1,910 | 2,016 | 2,152 | 2,236 | ↗ |
| 合計 | 12,615 | 13,525 | 11,650 | 13,869 | 14,073 | ↗ |

・スポーツ教室開設実績

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 21 教室 | 21 教室 | 20 教室 | 18 教室 | 21 教室 |
| 3,890 人 | 2,535 人 | 2,389 人 | 3,377 人 | 3,089 人 |

・スポーツ大学参加者数

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 169 人 | 620 人 | 232 人 | 280 人 | 325 人 |

※平成 23 年度より年 2 回開催

課題

・市主催全体の大会参加者は増加傾向にありますが、スポーツ・レクリエーション祭の参加者は減少傾向にあり、競技種目等の見直しを図る必要があります。



写真 岡崎市民体育祭の様子

③ 子どものスポーツの振興・体力の向上

【具体的な事業】

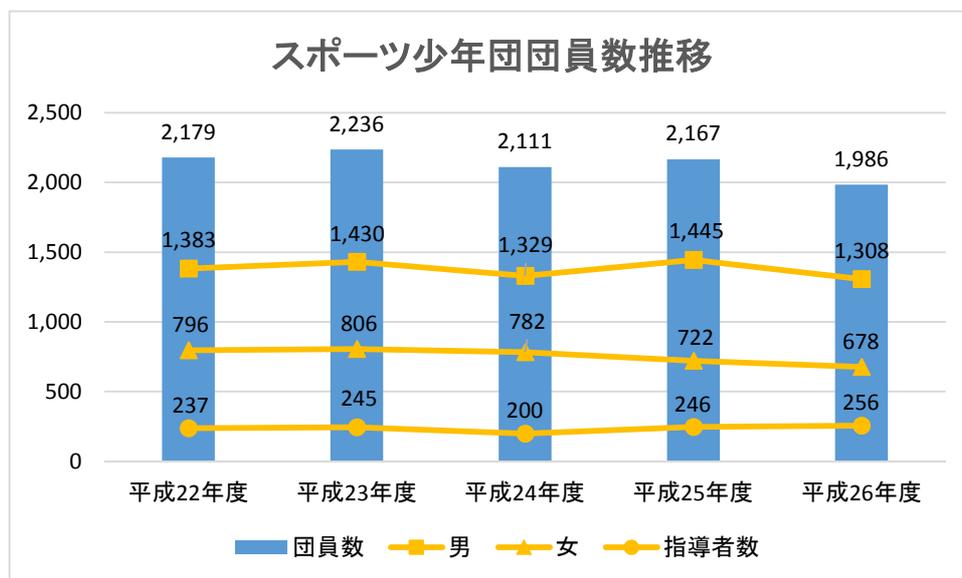
- ア スポーツ少年団への支援
- イ スポーツ教室の充実
- ウ 小中学校との連携

取組

- ア 広報紙「市政だよりおかざき」への団員募集記事の掲載など、事業補助を行っています。
- イ 学校部活動とは関係なく、地域全体の子どもの体力・技術向上を目的としたスポーツ教室等の開催を支援しています。
- ウ 各競技大会に小中学校の部門を設け、部活動単位での参加ができるようにしています。また市民駅伝競走大会では市内全中学校からエントリーがあります。

成果

- ・スポーツ少年団団員数推移



- ・岡崎市民駅伝競走大会中学校参加チーム数

| | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 男子 | 37 | 37 | 38 | 38 | 40 |
| 女子 | 35 | 36 | 36 | 39 | 39 |

課題

- ・スポーツ少年団の指導員は一定数確保されていますが、団員数が減少傾向にあり、対策が必要です。

④ 高齢者・障がい者のスポーツの振興

【具体的な事業】

- ア 高齢者スポーツの振興
- イ 障がい者スポーツの振興

取組

- ア 高齢者スポーツに関しては、隔年でのゲートボール大会とグラウンド・ゴルフ大会の開催、シニア向けニュースポーツの紹介、出前講座による健康体操・ストレッチ等を行っています。
- また、平成 26 年度においては、おかげきマラソンなど9つの市民大会にて、高齢者部門（60 歳以上）を設け、高齢者スポーツの振興に取り組みました。
- イ 障がい者スポーツに関しては、スポーツを通じて障がい者の体力増進、交流、余暇活動の充実などのために毎年岡崎市障がい者スポーツ大会を開催しています。その他にも、全国大会等に出場する障がい者への賞賜金贈呈、全国ろうあ者体育大会補助金の交付などを行っています。

成果

- ・老人クラブスポーツ大会参加者数（長寿課）

| | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| グラウンド・ゴルフ大会 | 441 人 | | 457 人 | | 448 人 |
| ゲートボール大会 | | 207 人 | | 181 人 | |

- ・障がい者賞賜金実績

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 8 人 | 7 人 | 10 人 | 12 人 | 11 人 |

- ・全国ろうあ者体育大会補助金実績（障がい福祉課）

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 11 人 | 23 人 | 15 人 | 22 人 | 14 人 |

課題

- ・ゲートボール大会は参加者が減少傾向にあり、対策が必要です。
- ・障がい者スポーツ大会は、障がいの種別や年齢によらず参加ができるよう実施種目を検討する必要があります。

⑤ 競技力の向上

【具体的な事業】

- ア 地元選手や団体の活躍の紹介・PR
- イ 顕彰制度の充実

取組

- ア 全国スポーツ大会等に出場する地元選手・団体に対して激励会を開催しています。また、全国大会等で優秀な成績を収めた地元選手・団体に対して表彰を行っています。
- イ 全国大会等に出場する選手や団体に対して、賞賜金を贈呈し競技者の意欲向上を図っています。

成果

- ・愛知県市町村対抗駅伝競走大会では、毎年代表で選ばれた選手の激励会を行っています。
- ・賞賜金実績

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 1,116 人 (252 件) | 967 人 (251 件) | 460 人 (117 件) | 490 人 (119 件) | 416 人 (103 件) |

※平成 24 年度より制度変更

課題

- ・競技者の意欲向上や競技力の向上のため、現行の取組を継続的に実施する必要があります。
- ・全国や世界レベルを目指す地元選手に対し、競技力向上のため、場の提供をする必要があります。

⑥ 観戦スポーツの推進

【具体的な事業】

ア 観戦スポーツの誘致

取組

ア 市民のスポーツに対する関心を深めるため、岡崎中央総合公園にてトップレベルの試合を開催しています。

成果

・主な観戦スポーツ開催実績

| | | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------------------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| Vプレミア リーグ | 試合数 | - | 4 | 8 | - | 4 |
| | 観客数(人) | - | 3,000 | 7,200 | - | 5,000 |
| Vチャレンジリー グ | 試合数 | - | - | - | 4 | 4 |
| | 観客数(人) | - | - | - | 1,500 | 3,000 |
| bjリーグ | 試合数 | - | 2 | 2 | - | 4 |
| | 観客数(人) | - | 4,000 | 4,000 | - | 6,500 |
| Fリーグプレ シーズンマッチ | 試合数 | - | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 観客数(人) | - | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 |
| 全国高校野球選手権大会 愛知県予選 | 試合数 | 29 | 29 | 27 | 30 | 31 |
| | 観客数(人) | 26,800 | 23,600 | 32,900 | 25,700 | 31,500 |

課題

・引き続き、指定管理者と連携し、誘致活動を計画的かつ継続的に取り組んでいく必要があります。



(2) スポーツクラブ団体の育成・支援

① 総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援

【具体的な事業】

ア 総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援

イ 総合型地域スポーツクラブのPR・広報

取組

ア スポーツ振興基本計画に基づき、平成 22 年 4 月に総合型地域スポーツクラブ（NPO 法人ワスパ）が設立され、活動支援を行っています

イ 総合型地域スポーツクラブの認知度の向上と、必要性を知ってもらうため、広報活動等を支援しています。

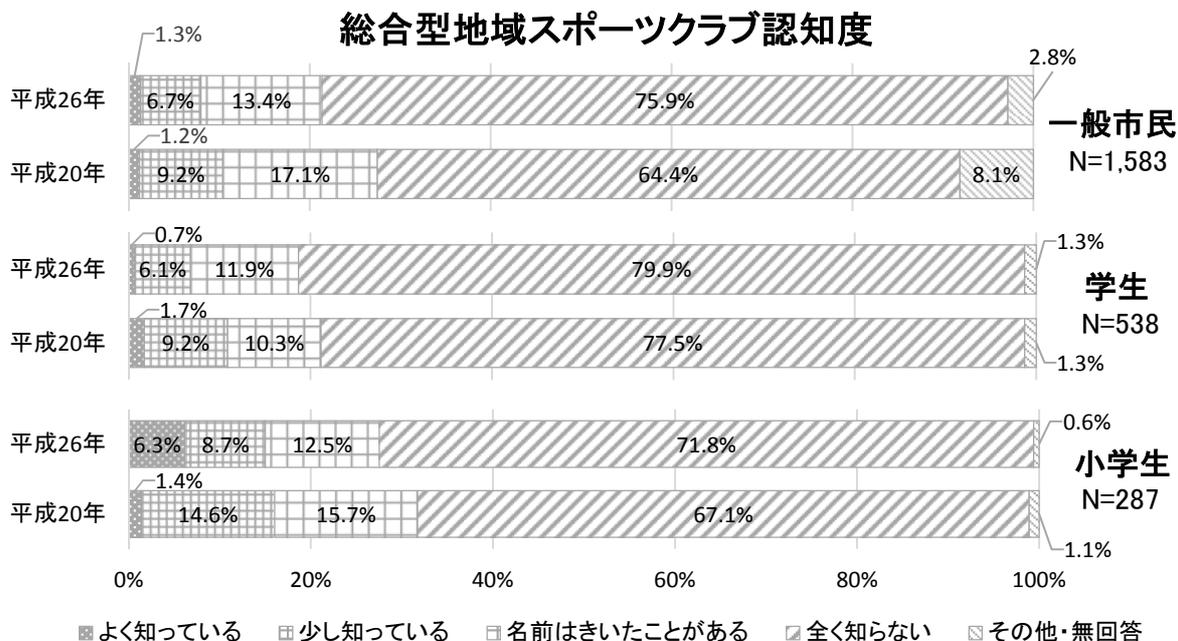
成果

- ・総合型地域スポーツクラブNPO法人ワスパ設立（平成 22 年 4 月）
- ・活動支援としてNPO法人ワスパに対して施設の優先予約を行っています。
- ・NPO法人ワスパ会員数

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1,049 人 | 1,201 人 | 1,449 人 | 1,624 人 | 1,704 人 |

課題

- ・引き続き、総合型地域スポーツクラブに対し、活動拠点となる施設の提供をする必要があります。
- ・総合型地域スポーツクラブの認知度が低いため、PR・広報の対策が必要です。



出典：岡崎市 スポーツに関するアンケート調査

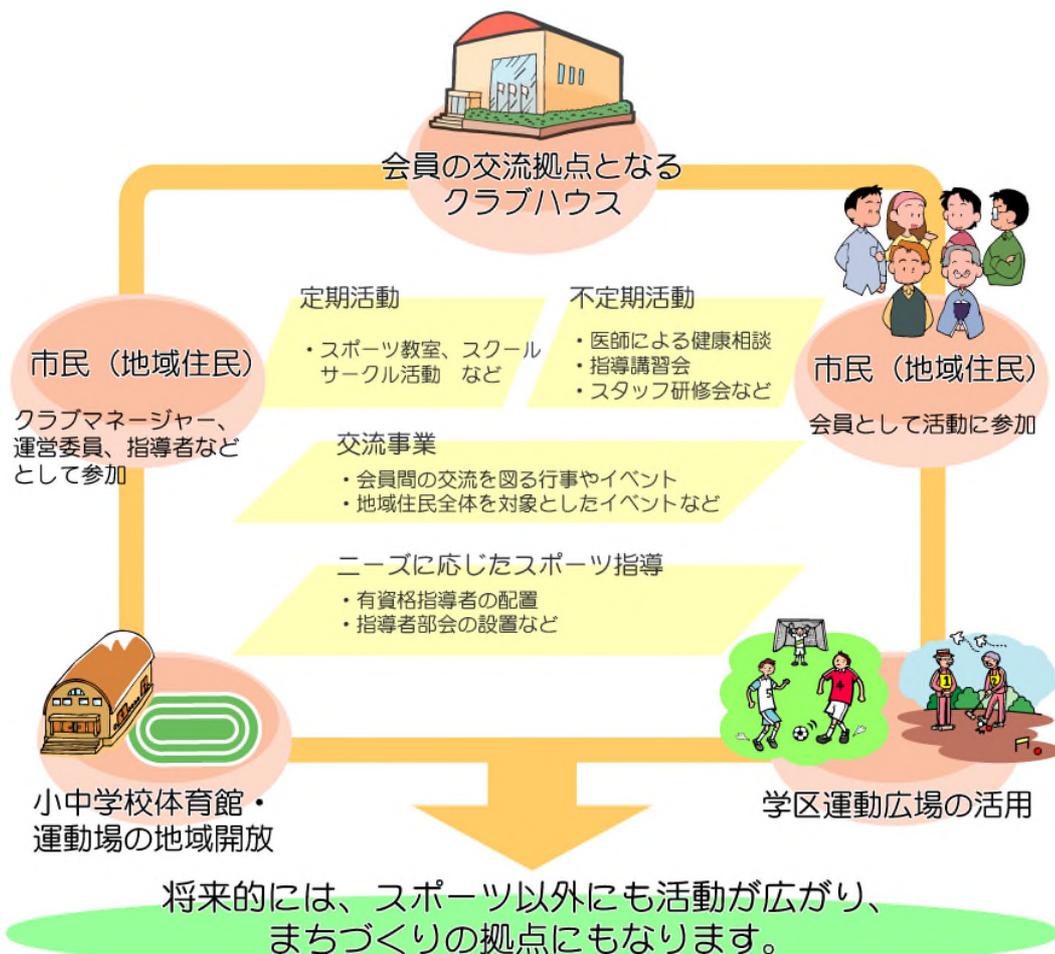
総合型地域スポーツクラブとは？

総合型地域スポーツクラブとは、毎日生活している地域の中で、子どもたちから高齢者まで、いつでも気軽にいろいろなスポーツが楽しめる地域密着型のスポーツクラブのことです。

- ①子どもから高齢者まで（多世代）
- ②様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）
- ③初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）

という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

総合型地域スポーツクラブで元気なまちづくり！！



② クラブ・団体の活動支援

【具体的な事業】

- ア クラブ・団体への情報提供
- イ クラブ・団体への活動支援
- ウ スポーツ活動の振興・啓発

取組

- ア 広報紙「市政だよりおかざき」に各種スポーツ大会やイベント、教室等の情報を掲載し、スポーツ情報を幅広く発信しています。また、機関紙「おかざき体協」を年3回発行し、各種スポーツ大会の概要や結果、市内スポーツ施設の紹介、スポーツに関わる今日の問題等幅広い視野から情報を発信しています。その他、岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会より、四半期に一度「スポーツ推進だより」を発行しており、スポーツ推進委員主催の大会の様子や学区でのスポーツ推進委員の活動報告を行っています。
- イ 各競技団体を統括する公益財団法人岡崎市体育協会へ市民スポーツ大会の開催を委託することにより、クラブ・団体の充実・強化を行っています。
- ウ 各小学校区社会教育委員会へ地域市民スポーツ振興補助金を交付し、地域ごとの市民のニーズに即したスポーツ振興補助を行っています。

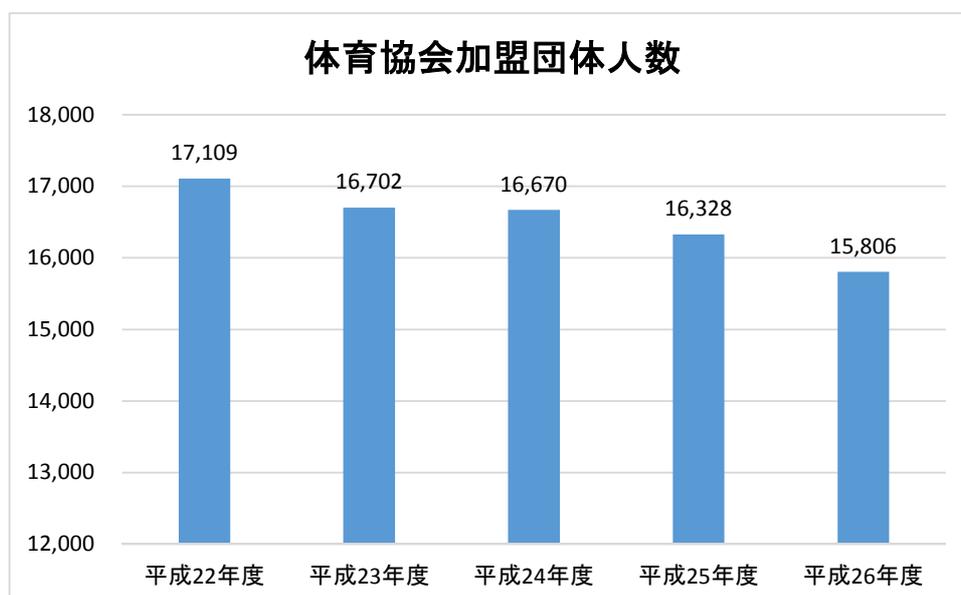
成果

- ・おかざき体協発行部数・・・6000部／年
- ・スポーツ推進だより発行部数・・・6000部／年
- ・地域市民スポーツ振興補助金実績

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 5,976,000 円 | 5,977,800 円 | 5,984,100 円 | 5,947,000 円 | 5,954,000 円 |

課題

- ・体育協会加盟団体の会員数が減少傾向にあるため、広報活動等を強化する必要があります。
- ・地域スポーツの活性化のため、各学区への支援を継続的に取組む必要があります。



(3) スポーツ施設の整備・充実

① スポーツ施設の整備

【具体的な事業】

ア 地域のスポーツ施設の整備・充実

取組

ア スポーツ施設の種類や地域別の配置、市民ニーズなどを勘案して、計画的なスポーツ施設の整備・配置を検討しています。

成果

・平成 25 年 4 月に常磐南運動広場を学区運動広場として設定しました。

課題

・本市ではスポーツ施設の老朽化が進行しており、今後既存施設の長寿命化・改修を計画的に進めるとともに、本市に不足する施設については整備に向けて方針を検討していく必要があります。

② スポーツ施設の有効活用

【具体的な事業】

ア 施設利用の促進

イ スポーツ施設の適切な管理

取組

ア スポーツ施設予約システムの充実などを行い、コストの低下と施設利用の促進を図っています。

イ 市民ニーズに即したスポーツ施設の適切な維持管理に努めています。

成果

・平成 27 年 1 月に施設予約システム更新を行いました。

課題

・市民ニーズに即したスポーツ施設の適切な管理方法を検討し、維持管理を行っていくとともに、夜間照明設備の老朽化が目立つため、改修計画を立て、計画的な改修を行う必要があります。

③ 身近なスポーツ施設の充実

【具体的な事業】

- ア 学校体育施設の活用の充実
- イ 大学・企業スポーツ施設の利用促進
- ウ 公共施設の有効活用

取組

- ア 地域住民のスポーツ拠点として、学校体育施設の地域開放を促進し、身近にスポーツができる施設の充実を図りました。
- イ 大学、企業のスポーツ施設を地域へ積極的に開放するよう働きかけ、それらの施設を有効活用することで身近にスポーツができる施設の充実を図りました。
- ウ 市民団体のスポーツ活動の拠点として、市民センター、地域交流センター、学区こどもの家など、スポーツ活動にも利用できる公共施設を有効に活用しました。

成果

・開放施設利用実績

| | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 小・中学校 | 26,711 件 | 27,006 件 | 26,199 件 | 27,082 件 | 27,524 件 |
| 高校 | 65 件 | 42 件 | 43 件 | 37 件 | 38 件 |
| 大学・企業 | | 2,719 件 | 2,625 件 | 2,518 件 | 2,720 件 |

小学校 47 校 中学校 19 校(H25 より 20 校) 高校 6 校 企業・大学 11 施設

・市民センター等をスポーツ活動の拠点として利用している団体数(平成 26 年 7 月現在)

- 市民センター・・・・・・・・・・28 団体
- 地域交流センター・・・・・・・・51 団体
- 学区こどもの家・・・・・・・・546 団体

課題

- ・各学区に設置している運営委員会の組織強化を図り、開放施設の効果的活用を図る必要があります。

(4) 人材の育成・体制の整備

① スポーツボランティアの育成・支援

【具体的な事業】
ア スポーツボランティアの育成・支援

取組

ア おかざきマラソンでは円滑な大会運営ができるよう、市民ボランティアを活用しています。

成果

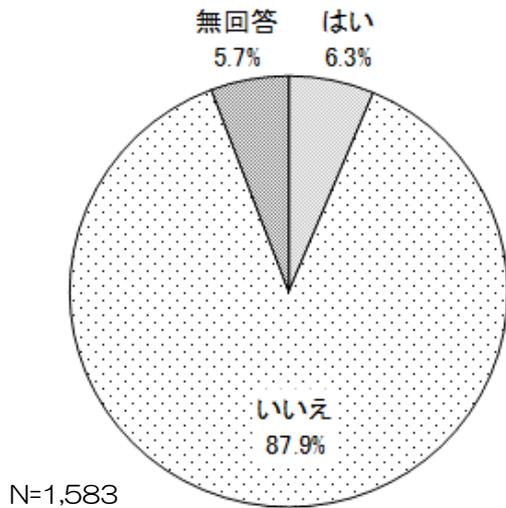
・おかざきマラソン市民ボランティア活用実績

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 0 人 | 5 人 | 0 人 | 25 人 | 27 人 |

課題

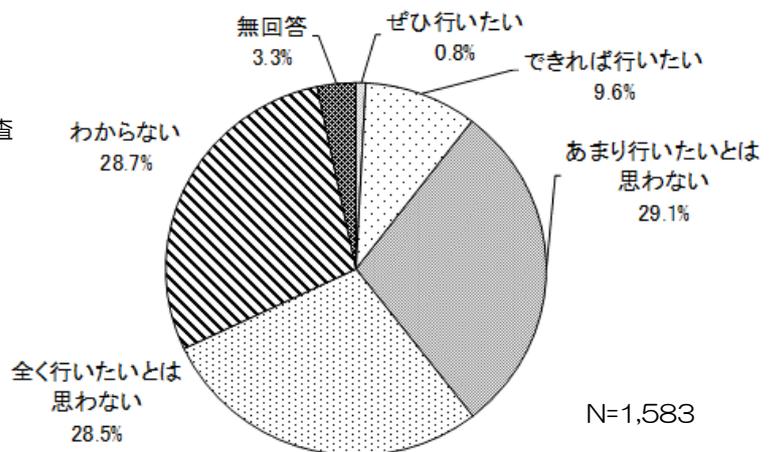
スポーツボランティア登録制度の設立については、ボランティアを活用できるスポーツ大会が現状ではおかざきマラソンのみであり、アンケート結果からもボランティアを希望する人が少ないため、見直す必要があります。

過去 1 年間にスポーツに関するボランティアを行ったか



出典：岡崎市 スポーツに関するアンケート調査

今後スポーツに関するボランティアを行いたいか



出典：岡崎市 スポーツに関するアンケート調査

② スポーツ指導者の育成・支援

【具体的な事業】

- ア スポーツ指導者の育成・支援
- イ 競技スポーツ指導者の育成・支援

取組

- ア スポーツ指導者の育成支援として、スポーツ少年団認定指導員取得講習会やリーダー研修会、スポーツ推進委員の研修会を行っています。
- イ 各種スポーツ指導者養成事業への支援を（公財）岡崎市体育協会を通じて行っています。

成果

- ・スポーツ少年団認定指導員取得講習会実績

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 0 人 | 7 人 | 10 人 | 32 人 | 17 人 |

- ・スポーツ指導者養成事業実績

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 24 団体 | 23 団体 | 22 団体 | 21 団体 | 21 団体 |

課題

- ・生涯スポーツなどを指導するスポーツ指導者から、競技スポーツ指導者まで、多様なスポーツニーズに応じた指導者を育成し、継続的に支援する必要があります。

③ スポーツを「支える」ネットワークづくり

【具体的な事業】

- ア 情報発信の充実
- イ スポーツを「支える」人や団体間の連携の促進

取組

- ア 「市政だよりおかざき」や「おかざき体協」、「スポーツ推進だより」にて講習会等の案内や、ニュースポーツの紹介をスポーツ指導者に向けて行っています。
- イ スポーツ推進委員連絡協議会では、各部会の開催や研修会の開催を行い、指導者間の情報交換や連携を図っています。また、市外での研修会等に参加することにより、他市の良いところを持ち帰り、地域スポーツの発展に役立てています。

成果

- ・愛知県スポーツ推進委員研修会参加者数

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 29 人 | 26 人 | 35 人 | 27 人 | 36 人 |

- ・西三河地区スポーツ推進委員実技研修会

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 18 人 | 30 人 | 22 人 | 34 人 | 30 人 |

- ・スポーツ推進委員全体研修会

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 95 人 | 91 人 | 83 人 | 96 人 | 174 人 |

※平成 26 年度は 2 回開催

課題

- ・広報誌やホームページを利用し、継続的に取り組む必要があります。
- ・研修会等への参加を継続的に続ける必要があります。



写真 スポーツ推進委員全体研修会（ウッドカーリング）の様子

(5) スポーツ情報の提供

① スポーツ施設利用情報の充実

【具体的な事業】

- ア スポーツ施設に関する情報提供
- イ スポーツ施設予約システムの構築

取組

- ア 市内のスポーツ施設の利用方法や料金など、スポーツ施設に関わる情報提供をホームページや体育施設ガイドブックを通じて行っています。
- イ 平成 27 年 1 月にスポーツ施設予約システムの更新を行い、利便性の向上を図っています。

成果

- ・岡崎市体育施設ガイドブック発行部数・・・600 部
- ・スポーツ施設予約システム登録団体数

| 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 484 | 699 | 798 | 856 | 920 |

課題

- ・スポーツ施設に関する情報提供を広報誌やホームページを活用し、継続的に取り組む必要があります。

② スポーツ情報の内容の充実

【具体的な事業】

ア スポーツ大会・行事・教室の開催情報

取組

ア 市政だよりやスポーツ推進だより、(公財)岡崎市体育協会ホームページでの情報提供を行っています。

成果

- ・スポーツ推進だより発行部数・・・6000部/年(年4回発行)
- ・おかざき体協発行部数・・・・・・6000部/年(年3回発行)

課題

- ・広報誌やホームページを活用し、継続的に取組む必要があります。

③ スポーツ活動の啓発

【具体的な事業】

ア スポーツ活動の啓発

取組

ア プロスポーツ選手と交流し、試合観戦することによって、市民がスポーツに関心を持ちスポーツライフを楽しめるよう、スポーツ活動の啓発に取り組んでいます。東レアローズバレーボール教室や、バレーボールVプレミアリーグエスコートキッズ、NBLバスケットボール観戦などを行っています。

成果

- ・東レアローズバレーボール教室参加者数

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 300人 | 300人 | 298人 | 184人 | 218人 |

課題

- ・プロスポーツ選手との交流は市民にとって貴重な経験であり、スポーツ実施率の向上と、スポーツに接する機会を作る観点から継続的に取組む必要があります。



写真 東レバレーボール教室の様子

第3章 計画の基本理念

3-1 基本理念

スポーツ活動は、身体を動かす機会を提供し、市民の体力の向上や健康増進をもたらします。また、日々のストレスを解消させ、精神的なゆとりや生きがいのある暮らしにもつながります。さらに、地域における人間関係の希薄化が進む中、スポーツ活動を通じた仲間づくりや地域コミュニティの活性化などの効果も期待されます。

本市においても、市民がスポーツ活動を通じて、健康で生きがいを持って暮らせるよう、子どもから高齢者までの様々な年代の人、障がいを持つ人などを含めた幅広い市民を対象としたスポーツ活動の推進が求められています。

現行計画では、基本理念を「スポーツでつなぎ 育む いきいきげんき 岡崎」とし、市民の誰もが、生涯を通じて気軽にスポーツを楽しむ環境を整えることにより、スポーツが市民の暮らしに根付き、市民生活においてスポーツライフが定着することを目指してきました。その結果、市民の半数が週1回以上運動・スポーツを行っているなど、一定の成果が挙げられています。

今後も引き続き、市民一人ひとり、家族、地域、そして岡崎市全体でスポーツを通じたつながりが育まれ、市民が生きがいを持って暮らせるまちづくり、スポーツを通じた交流による元気なまちづくりへとつながることを期待して、

計画の基本理念を「スポーツでつなぎ 育む いきいきげんき 岡崎」とします。

スポーツでつなぎ 育む
いきいきげんき 岡崎

3-2 スポーツ推進の基本的な考え方

多様な市民のニーズに応え、スポーツ活動を推進するため、現行計画では、①スポーツをはじめ、②スポーツで生活を楽しむ、③スポーツで生活の質を高める という 3 つの視点に基づいた施策を展開してきました。

計画の中間見直しにあたり、社会情勢の変化や、市民の運動・スポーツの実施状況及び意向を踏まえ、スポーツ推進の基本的な考え方を以下のとおりとします。

(1) スポーツを「はじめる」

成人の週 1 回以上のスポーツ実施率は 50.1%であり、現行計画における重点目標を達成するとともに、国や愛知県と比較しても高い割合となっています。しかし、スポーツを行う頻度をみると、「スポーツをしていない」と回答した市民の割合は 30.4%であり、現行計画策定時よりも高くなっています。仕事などが忙しい、スポーツをする場所が近くにない、施設の利用日と都合が合わないなどの理由でスポーツをしていない人が依然として多くいることから、スポーツを行っていない人たちが日常生活の中でスポーツを「はじめる」ことができるよう、きっかけづくりを継続して努めます。

(2) スポーツに「親しむ」

平成 23 年 6 月に制定されたスポーツ基本法において、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとされています。スポーツは、心身の健康の保持増進、青少年の健全育成、地域コミュニティの再生、社会・経済の活性化など、様々な効果が期待されます。市民がこうした効果を享受し、幸福で豊かな生活を送るため、自身のライフステージやライフスタイルに合わせてスポーツに「親しむ」ことができるよう、意欲的にスポーツに取り組める環境づくりに努めます。

(3) スポーツで「人や地域とつながる」

現代社会において、少子高齢化の進行や情報化・都市化の進展に伴う地域コミュニティの衰退が課題とされています。また、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災は、国民生活に未曾有の大きな被害をもたらすとともに、社会の絆の重要性を改めて認識させました。

前述のとおり、スポーツに親しむことは心身の健康の保持増進につながるだけでなく、地域との交流やまちづくりへの発展にもつながります。アンケート調査においても、スポーツを通じた世代間を超える交流が期待されていることが分かります。市民がスポーツを通じて「人や地域とつながる」ことができるよう、スポーツ活動の推進を図ります。

3-3 施策体系

| 基本理念 | 基本施策 | スポーツ推進の基本的な考え方 |
|--|---|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> スポーツ でつなぎ育む いきいきげんき 岡崎 </p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ機会の充実 ～多様なニーズに対応した プログラムづくり～ 2. スポーツクラブ・団体の活動支援 ～誰もが参加したくなる組織づくり～ 3. スポーツ環境の整備・充実 ～身近に・気軽に 利用できる環境づくり～ 4. 人材の育成・体制の整備 ～地域のスポーツ文化を 支える人づくり～ 5. スポーツに関する情報提供の充実 ～市民のニーズに応える 情報発信の仕組みづくり～ | <p style="text-align: center;"> スポーツを 「はじめる」 </p> <p style="text-align: center;"> スポーツに 「親しむ」 </p> <p style="text-align: center;"> スポーツで 「人や地域と つながる」 </p> |

図 計画の概要（施策体系図）

3-4 計画目標

本計画の理念を達成するため、以下の目標を設定します。

スポーツを日常的に行う人の拡大を図り、
成人の「週1回以上のスポーツ実施率」を55%以上にします。

現行計画では、「スポーツを日常的に行う人の拡大を図り、成人の週1回以上のスポーツ実施率を、できる限り早期に50%以上にすることを目指します。」「平成26年度までに、総合型地域スポーツクラブが1つ以上創設されるよう支援します。また、そのクラブの課題や効果を検証しつつ、さらなるクラブの設立に取り組みます。」という2つの重点目標を設定していました。スポーツ実施率については、岡崎市スポーツに関するアンケート調査において、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50.1%にのぼり、目標を達成しています。しかし、国のスポーツ基本計画では、「できる限り早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率を3人に2人（65%程度）にする」ことを目標としており、愛知県スポーツ推進計画 いきいきあいち スポーツプランにおいても、「平成35年3月までに成人の週1回以上のスポーツ実施率を60%にする」ことを目標としています。

本計画では、引き続き、市民の誰もが、生涯を通じて気軽にスポーツを楽しむ環境を整えることにより、スポーツが市民の暮らしに根付き、市民生活においてスポーツライフが定着することを目指し、「成人の週1回以上のスポーツ実施率を55%以上にする」ことを計画目標とします。

なお、総合型地域スポーツクラブについては、平成22年4月に総合型地域スポーツクラブ「NPO法人ワスパ」を設立し、活動支援を行っています。クラブが抱える課題として、スタッフ不足や活動拠点不足が挙げられており、まずはクラブに対する活動支援を継続し、クラブの増設等についてはその経過をみて検討することとします。

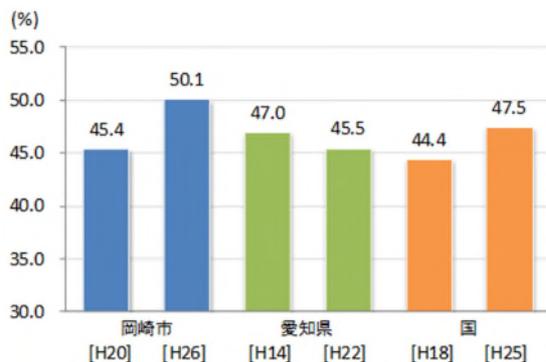


図 成人の週1回以上のスポーツ実施率
出典：岡崎市 スポーツに関するアンケート調査
愛知県 スポーツに関する県民の意向調査
文科省 体力・スポーツに関する世論調査

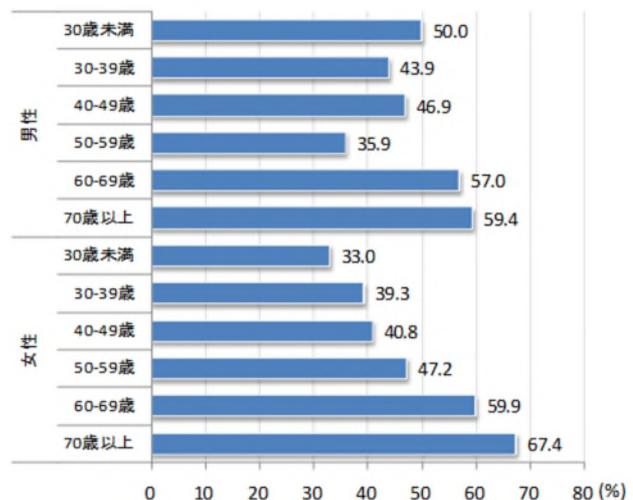


図 男女・年齢別の週1回以上のスポーツ実施率
出典：岡崎市 スポーツに関するアンケート調査

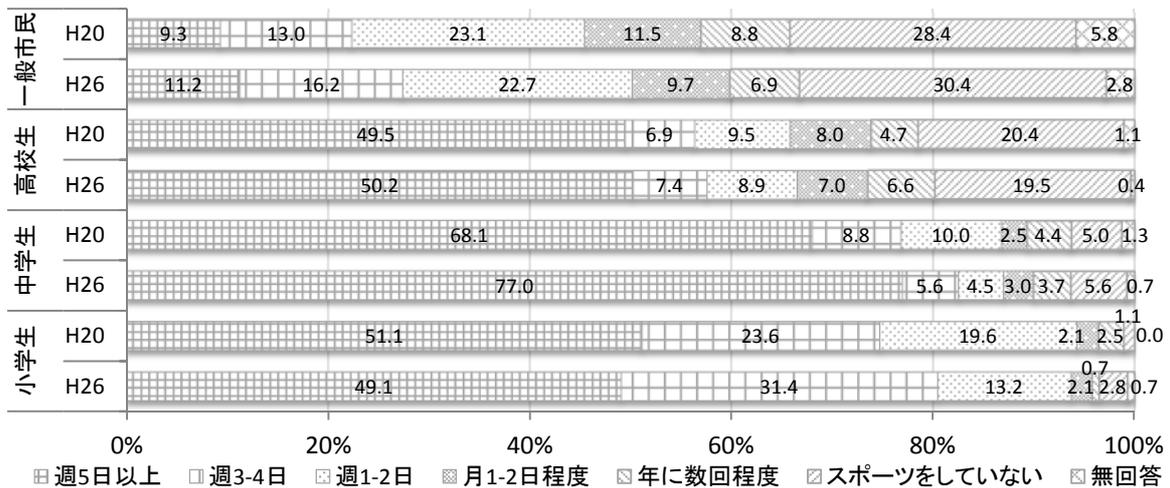
第4章 施策の展開

4-1 スポーツ機会の充実

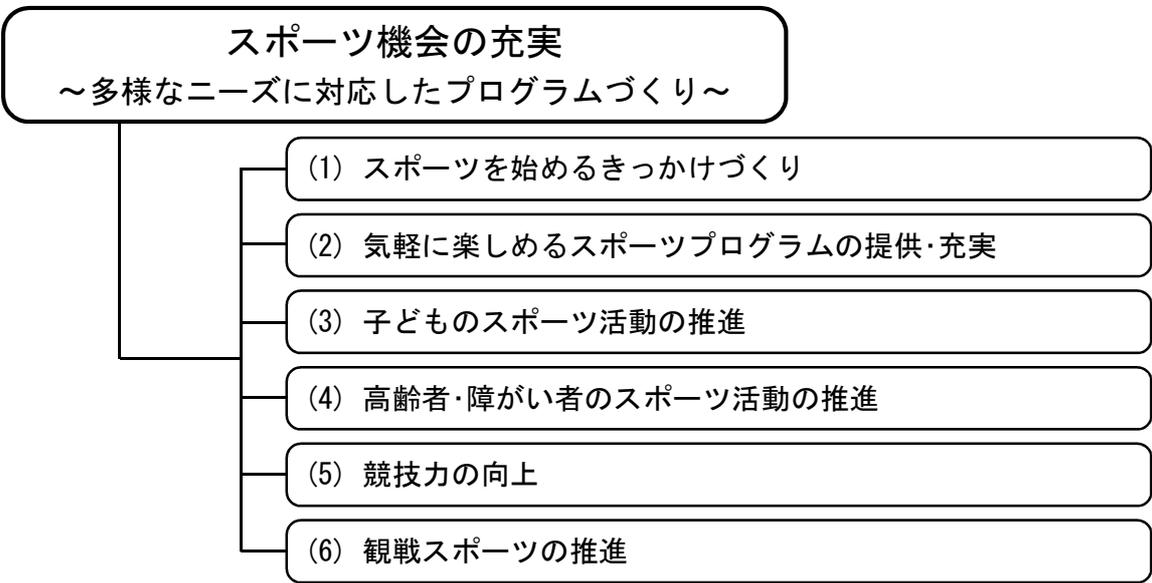
本市では、様々な年代を対象としたスポーツ教室や講座、スポーツ大会・イベントの開催など、多様なニーズに対応したスポーツプログラムづくりにより、市民のスポーツ機会の充実を図ってきました。その結果、成人の週1回以上のスポーツ実施率は50.1%となり、現行計画で掲げた重点目標を達成しています。

一方で、スポーツを行っていない人が依然として3割程度みられるほか、その理由として「仕事や家庭・勉強などで忙しい」が多く挙げられ、市民が自身のライフスタイルに合わせて、身近にスポーツに親しむ機会を充実させていくことが今後の課題として挙げられます。

市民がよりスポーツに親しむことができるよう、子どもから高齢者、障がいのある人も含め、誰もが気軽に楽しむことができるよう、市民の様々なライフステージやライフスタイルに応じたスポーツプログラムの展開、充実を図ります。



0% 20% 40% 60% 80% 100%
 田 週5日以上 □ 週3-4日 ▨ 週1-2日 ▩ 月1-2日程度 ▪ 年に数回程度 ▫ スポーツをしていない ◻ 無回答
 一般市民:N=1,583 高校生:N=263 中学生:N=275 小学生:N=287
 図 スポーツを行う頻度（一般市民、高校生、中学生、小学生）
 出典：岡崎市 スポーツに関するアンケート調査



(1) スポーツを始めるきっかけづくり

現在スポーツをしていない人たちが、スポーツに対して興味・関心を持ち、スポーツを始めるきっかけとなるようなプログラムの提供・充実を推進します。

スポーツを始めるためのプログラムとして、スポーツを楽しめるレクリエーションプログラムやスポーツを学べる学習プログラムの推進、また、特に市民の関心が高い健康や体力づくりのためのトレーニングプログラムや体力測定等のテストプログラムの推進を図ります。

① スポーツを「はじめる」プログラムの展開

【継続】

○市民がその生涯を通じて、気軽に、楽しんでスポーツができる、スポーツについて学べる機会を提供します。

○関係機関と連携を図り、市民のニーズに合った講座や研修会など、多様なプログラムを実施します。

② ニュースポーツの普及・推進

【見直し・拡充】

○スポーツ・レクリエーション祭、学区交歓スポーツ大会など、競技種目等の追加・見直しを検討し、誰もが参加できる大会やイベントを開催します。

○出前講座などにより、誰でも気軽できるスポーツの紹介、普及に取り組みます。

○スポーツ推進委員が中心となり、ニュースポーツ教室・研修会を開催します。

○貸し出し用ニュースポーツ器具の充実を図ります。

③ 地元選手や団体の活躍の紹介・PR

【継続】

○地元の選手や団体の活動状況などを、市民に紹介・PRすることにより、選手のやる気を高めるとともに、市民のスポーツ気運を盛り上げます。

④ スポーツで健康づくりの推進

【新規】

○健康づくりや体力づくりの一環として、市民が気軽に始められるスポーツ情報を提供します。

○気軽に体力を測定できる機会を提供します。

(2) 気軽に楽しめるスポーツプログラムの提供・充実

スポーツを始めた市民が、日常的にスポーツに親しみ、スポーツのある生活を楽しむことができるよう、気軽に楽しめるスポーツプログラムの提供・充実に取り組みます。

スポーツの楽しさを体感することを目的としたレクリエーションプログラムをはじめ、市民の誰もが、気軽に参加でき、楽しむことができるスポーツ機会を充実させます。また、市民のニーズに合わせて、スポーツ教室やイベント等の開催時期や開催時間帯などに幅を持たせることで、それぞれのライフステージやライフスタイルに合ったプログラムを選択できるよう、市民活動団体や市内の企業などと連携して、多様なスポーツプログラムを提供します。

その他、多くの市民が普段から行っており、今後も続けていきたいと考えているウォーキングや健康体操といった気軽に取り組めるスポーツを推進します。

① スポーツ大会・イベントの充実

【継続】

- 市民のニーズに合わせ、市民が参加しやすい、参加したいと思う大会やイベントを企画・開催します。
- 市内の身近な場所を歩くウォーキングイベントなど、気軽に参加できるイベントの開催、情報提供を行います。
- 親子で参加し、楽しめる、スポーツ大会やイベントなどを開催します。

② スポーツ教室・スポーツ大学の充実

【継続】

- 市民のニーズに合わせ、スポーツ教室などの開催期日や時間帯を工夫します。
- （公財）岡崎市体育協会によるスポーツ大学等開催を支援し、スポーツ指導者の資質向上を図ります。
- 岡崎市体育協会、市内の NPO などの市民活動団体及び、企業などと連携して、スポーツ教室などのスポーツ事業を充実させます。

③ ウォーキング・健康体操の普及

【新規】

- 取組意向の高いウォーキング（レッツ・ウォーキング）の普及を図ります。
- 地域の名所、景色のきれいな場所等を巡る地域密着型のウォーキングコース・マップの普及を図ります。
- 健康体操、まめ吉体操の普及推進を図ります。



写真 スポーツ・レクリエーション祭
(ノルディック・ウォーク)の様子



写真 岡崎市民体育祭
(まめ吉体操)の様子

(3) 子どものスポーツ活動の推進

子どものスポーツ活動を推進するため、スポーツ少年団への支援、子ども向けの教室や大会、イベント等の充実などを通して、子どものスポーツ活動の機会を充実させます。

また、小中学校と総合型地域スポーツクラブとの連携を推進し、地域全体で子どものスポーツ振興に取り組む体制づくりを支援します。

さらに、国の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では、幼少期の多様な運動経験がその後の運動習慣、体力・運動能力に影響を与えることが明らかとなっており、親子での運動教室の開催等により、幼児期からの身体を動かす習慣づくりを推進します。

① スポーツ少年団への支援

【継続】

○（公財）岡崎市体育協会を通じて、スポーツ少年団の活動を支援し、子どものスポーツ活動の機会の充実に取り組みます。

② スポーツ教室の充実

【継続】

○スポーツをすることの意義を広め、スポーツに対する正しい知識を身につけるように努めます。

○（公財）岡崎市体育協会や市内の企業、市民活動団体等と連携し、子ども向けスポーツ教室の充実を図ります。

○競技種目中心の活動だけでなく、多様なスポーツ体験を通じて、子どもがスポーツに親しめるよう、スポーツ教室を充実させます。

③ 小中学校との連携

【継続】

○学校への体育行事に関する情報提供及び、体育施設や用具の充実などを図り、子どもたちがのびのびと運動ができるような環境づくりを行います。

○地域のスポーツ活動と連携し、学校部活動に所属しない子どもなどを含めた地域全体の子どもの体力向上、スポーツ推進に取り組みます。

○小中学校と地域の連携に取り組みます。

○小中学校と総合型地域スポーツクラブが連携できるよう、広報活動等による支援をします。

(4) 高齢者・障がい者のスポーツ活動の推進

高齢化の進展に伴い、本市においても高齢者を対象としたスポーツプログラムのニーズが高まっています。そのため、高齢者のスポーツ活動の推進については、それぞれの体力や運動能力に合わせたプログラムの提供、健康・体力の向上プログラムの提供などを図ります。

また、障がい者の社会参加やリハビリの一環として、障がい者のスポーツ活動の充実が求められています。そのため、スポーツ活動による健康増進や機能の維持・回復に取り組み、障がい者の自立や社会参加を支援します。

① 高齢者のスポーツ活動の推進

【継続】

○高齢者の健康・体力づくりのため、関係機関との連携を図り、高齢者向けスポーツプログラムの充実、推進を行います。

○高齢者向けスポーツ施設の整備を行います。

○学区老人クラブ連合会などの活動を支援し、高齢者のスポーツ活動の活性化を図ります。

② 障がい者のスポーツ活動の推進

【継続・拡充】

○障がい者同士の交流や体力増強を目的として、障がい者スポーツ大会を実施するなど、障がい者スポーツの普及を図ります。

○全国大会等に出場する障がい者への賞賜金を支給するなど、障がい者スポーツに対する意識を高めます。

○障がい者が気軽にスポーツ活動に参加できるよう、公共のスポーツ施設の整備・改善などに取り組みます。

○福祉の村の再整備による「新友愛の家」において、障がい児・者のニーズに応じた講座の開講に取り組みます。



(5) 競技力の向上

地元の選手が、全国や世界レベルで活躍したり、優秀な成績を収めたりすることは、市の誇りにもなり、スポーツの活性化につながります。

全国大会などで優秀な成績を収めた地元の選手や団体に対する表彰の実施や、その活躍のPRなどを行い、競技者の意欲を高め、本市の競技力の向上を図ります。

① 地元選手や団体の活躍の紹介・PR

【継続】

- 地元の選手や団体の活動状況や活躍などを、広報紙「市政だよりおかざき」などで広報します。
- 市長表敬などを実施します。

② 顕彰制度の充実

【継続・拡充】

- 全国大会等に出場する地元の選手や団体に対して、激励会の開催や賞賜金を贈呈することで、競技者の意欲の向上を図るとともに、賞賜金制度の対象範囲拡大に努めます。
- 全国大会等で優秀な成績を収めた地元の選手や団体に対して、表彰などを行います。

③ 全国・世界レベルで活躍する地元選手の支援

【新規】

- 全国や世界レベルを目指す地元選手に対し、競技力向上のための場を提供し支援します。
- 全国や世界レベルを目指す地元選手を支援し、優秀な成績を収めることで、市民が刺激を受けて、本市のスポーツ活性化につなげます。

(6) 観戦スポーツの推進

スポーツをみるという関わり方は、スポーツに対して苦手意識を持つ人でも、気軽に行えるスポーツ活動であり、スポーツに関心を持ち、始めるきっかけにもつながります。また、高いレベルでの試合や大会は、観る人に感動を与え、既にスポーツを行っている人の関心や意欲を高める効果も期待できます。

観戦スポーツの推進を通じて、スポーツの裾野の拡大やスポーツへの意欲の高揚を図ります。

① スポーツ観戦機会の充実

【継続・拡充】

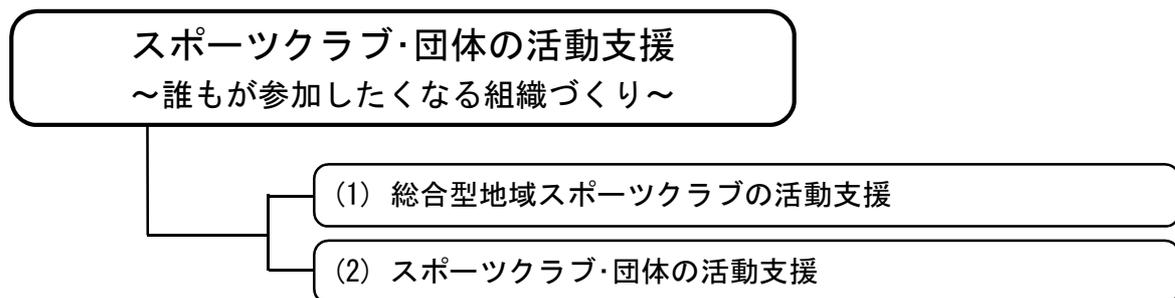
- トップレベルの試合や大会などを誘致、開催し、競技スポーツの充実を図るとともに、市民のスポーツへの関心や意欲を高めます。
- トップレベルの試合や大会などの開催と併せて、トップアスリートと市民のスポーツ交流機会の創出を図ります。

4-2 スポーツクラブ・団体の活動支援

スポーツ活動の取り組みには、個人的な活動に加えて、スポーツクラブや団体に所属しての活動があります。スポーツクラブや団体に所属することは、ともに活動する仲間ができること、継続的・組織的・計画的に活動ができることなどのメリットがあり、より主体的に、継続的にスポーツを行う上で大きな意義を持ちます。スポーツに関する市民意識調査の結果においても、定期的にスポーツができる、仲間ができる、楽しんでスポーツができるなどのメリットがあると答えています。

従来のスポーツクラブや団体は、学校や地域、企業においてそれぞれ活動しており、単一種目、同世代中心などの特徴がみられました。しかし、現在では、身近な地域で気軽に参加でき、多様化するニーズに対応できる新しいスポーツクラブのあり方が求められており、これらを踏まえ、本市でも平成22年4月に総合型地域スポーツクラブが設立されました。

今後は、総合型地域スポーツクラブの活動支援を行うとともに、(公財)岡崎市体育協会やスポーツ少年団、それに加盟する団体の他、様々なスポーツクラブや団体の活動支援を行い、市民の自発的なスポーツ活動の活性化を図ります。



(1) 総合型地域スポーツクラブの活動支援

総合型地域スポーツクラブには、多世代が気軽に参加することができ、それぞれのニーズに合わせて多種目から選択してスポーツを行うことができることが期待されています。市民意識調査では 75.9%が総合型地域スポーツクラブを全く知らないと答えており、今後も活動目的や内容の紹介・PR など、継続して支援を行います。

① 総合型地域スポーツクラブの活動支援

【見直し・拡充】

- 総合型地域スポーツクラブの認知度を高めるため、広報活動を強化します。
- 総合型地域スポーツクラブの効果や必要性などを知ってもらい、地域での新たな総合型地域スポーツクラブ設立に向けた気運を高めることに取り組みます。
- 総合型地域スポーツクラブの意義や目的、運営ノウハウなどについて、情報提供を行います。
- 総合型地域スポーツクラブについての講座などを開催するとともに、参加の推進を行います。

(2) スポーツクラブ・団体の活動支援

市内で活動するスポーツクラブや団体に対して、情報提供や活動支援などを行い、クラブや団体が活動しやすい環境を整えます。

また、スポーツクラブや団体への活動支援を通して、市民の自発的なスポーツ活動の活性化を図り、スポーツを通じた地域づくりやまちづくりへの発展を図ります。

① スポーツクラブ・団体の活動支援

【継続・見直し】

- スポーツ活動を推進するため、(公財)岡崎市体育協会の充実・強化を図ります。
- スポーツクラブ・団体の活動を支援し、地域のスポーツ活動の活性化を図ります。
- (公財)岡崎市体育協会を通じてスポーツ大学等を開催し、スポーツクラブ・団体の指導者の資質向上を図ります。
- スポーツクラブ・団体の活動内容などについて、市民にPR・広報します。

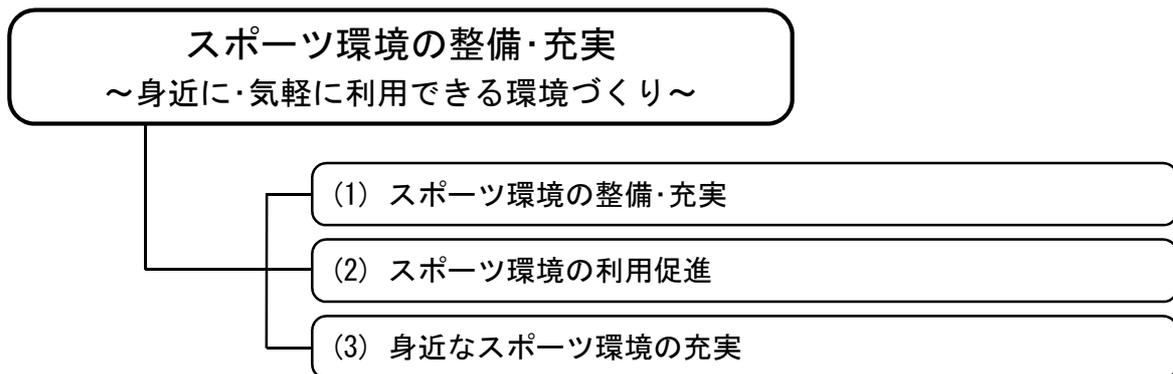
4-3 スポーツ環境の整備・充実

スポーツ環境には、全市的な大会やイベント等が開催できるスポーツ施設や、地域住民が身近な日常のスポーツ活動に利用する施設・環境など、様々なものがあります。

市内には、体育館、庭球場、野球場などをもつ複合施設である岡崎中央総合公園をはじめ、公共の体育館が6施設、運動場が25施設、庭球場が8施設あり、その他にもカヌー練習場や乗馬場、射撃場など、多様なスポーツ環境が整備されています。また、平成20年に開館した岡崎げんき館も、健康づくりの拠点として多くの市民に利用されています。

さらに、地域の身近なスポーツ環境として、学校体育施設の開放事業も積極的に行われているほか、市民センター、地域交流センター、学区子どもの家などの施設も利用されています。

このような本市の多様なスポーツ環境を活かすとともに、本市の特色を活かして、スポーツの活性化を図るため、市内のスポーツ施設の種類や地域別の配置、市民ニーズなどを勘案し、スポーツ環境の有効活用や計画的な施設の整備・充実に取り組みます。



(1) スポーツ環境の整備・充実

スポーツ施設の種類や地域別の配置、市民ニーズ、現行計画の成果や課題などを勘案して、計画的な施設の整備・充実に取り組みます。また、地域の老朽化した施設や設備の改修など、市民が安全、快適に利用できるスポーツ環境の整備・充実を図ります。

また、市民のニーズが高いウォーキングコース、ジョギングコースの設定を推進し、コースマップの作成等により、その利用促進を図ります。

① 地域のスポーツ環境の整備・充実

【見直し・拡充】

- 市民に快適なスポーツ環境を提供するために、施設の種類や稼働状況及び老朽化の進捗状況を把握し、また市民ニーズに合った施設配置の状況を把握分析します。
- スポーツ環境の整備充実を図っていくために、老朽化した既存施設や設備については、優先順位を決めて長命化の視点に立った改修計画を作成するとともに、市民ニーズに対して本市に新設や増設が必要となるスポーツ施設については、今後の整備方針の検討を進めます。
- こうした既存施設の改修や不足施設の整備方針については、本計画のもとに「スポーツ施設配置整備方針」を別途策定します。

(2) スポーツ環境の利用促進

市内の公共スポーツ施設の効果的な管理・運営方法を検討します。市民が安心、気軽に利用できるような仕組みづくりを通じて、スポーツ環境の利用促進を図ります。

① スポーツ施設の利用促進

【見直し・拡充】

- スポーツ施設の予約システムの充実などを行い、利便性を高めることで施設利用の促進を図ります。
- 用途に応じたスポーツ施設の占用利用の区分見直しなどを検討し、スポーツ施設の利用促進を図ります。

② スポーツ施設の適切な維持管理

【見直し・拡充】

- 「スポーツ施設配置整備方針」に基づき、長期的な視点で適切な維持管理を行います。
- スポーツ施設の種類や内容に応じ、市民ニーズに即したスポーツ施設の適切な管理方法について検討します。

(3) 身近なスポーツ環境の充実

学校体育施設、地域の運動広場、市民センター、地域交流センター、学区子どもの家などを活用し、市民がより身近な場所で気軽にスポーツに楽しめるよう、身近なスポーツ環境の整備、充実を図ります。

① 学校体育施設の活用の充実

【継続】

- 学校体育施設の地域開放を促進し、有効に活用することで、身近にスポーツができる施設の充実を図ります。
- 地域の学校体育施設の活用を効率的に行えるよう、学校体育施設開放事業の運営について検討します。

② 大学・企業スポーツ施設の利用促進

【継続】

- 大学や企業のスポーツ施設を、地域に積極的に開放するよう働きかけるとともに、それらの施設を有効に活用することで、身近にスポーツができる施設の充実を図ります。

③ 公共施設の利用促進

【継続】

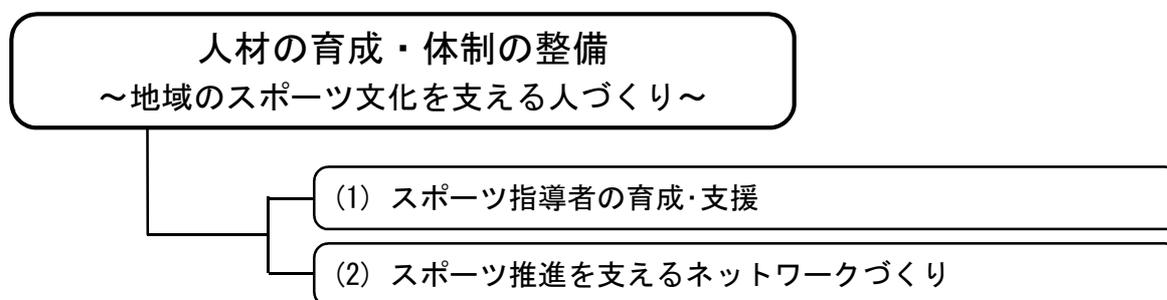
- 市民センター、地域交流センター、学区子どもの家など、スポーツ活動にも利用できる公共施設の有効に活用します。

4-4 人材の育成・体制の整備

市民のニーズが多様化する中、それに応えるため、様々な種目に対応できるスポーツ指導者や総合型地域スポーツクラブ、地域のスポーツ活動を支えるスポーツクラブやスポーツ少年団などの活動が期待されています。

また、高齢者のスポーツニーズの増大や健康志向の高まりなどから、今後は、健康づくりなどの観点から、スポーツの正しい知識を持ち、スポーツの楽しさを伝えられる人材の育成や確保が必要となります。

今後は、スポーツ指導者の人材育成を継続して支援するとともに、スポーツクラブやスポーツ少年団など幅広い地域のクラブやサークル、指導者間のネットワークの構築など、全市的にスポーツを支える体制を整備します。



(1) スポーツ指導者の育成・支援

地域で生涯スポーツなどを指導するスポーツ指導者から、競技スポーツの指導者まで、多様なスポーツニーズに応じた指導者を育成し、その活動を支援します。

① スポーツ指導者の育成・支援

【継続】

- 地域で生涯スポーツなどを指導するスポーツ推進委員やスポーツ指導者を支援し、地域のスポーツ活動を支え、育てる人の育成に努めます。
- 定期的に研修会を開催し、スポーツ推進委員の在り方の研究を深め、資質の向上に努めます。
- スポーツ大学や研修会を開催し、スポーツ指導者を養成します。
- スポーツ指導者に対して、スポーツ施策や活動に関わる情報提供や参加の呼びかけなどを行います。
- 健康づくりリーダーの養成と活動の推進に努めます。

② 競技スポーツ指導者の育成・支援

【継続】

- 各種競技スポーツ指導者の育成を支援し、競技スポーツ指導者の質の向上を図ります。

(2) スポーツ推進を支えるネットワークづくり

より質の高いスポーツ指導が行えるよう、スポーツ指導者等に向けて、様々な情報を発信するとともに、市内のスポーツ指導者や団体・クラブ、ボランティアなどと連携を図り、スポーツを支える人や団体のネットワークづくりに取り組みます。

① 情報発信の充実

【継続】

- 講習会等の案内、ニュースポーツの紹介、スポーツ推進委員だよりの配布など、スポーツ指導者等への情報発信を行います。

② スポーツを支える人や団体間の連携の強化

【継続】

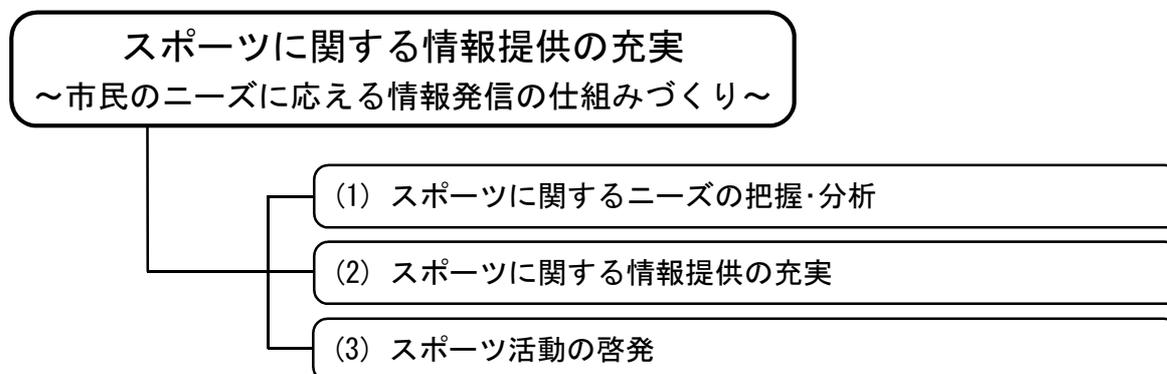
- 各種団体及び指導者の連絡会議を開催するなど、市内のスポーツクラブ・団体やスポーツ指導者間の情報交換や連携を図ります。
- スポーツボランティアを積極的に活用し、連携を図ります。

4-5 スポーツに関する情報提供の充実

スポーツに関する情報の提供は、市民のスポーツ活動の充実にとって不可欠であるとともに、スポーツを始めるためのきっかけとしても大きな役割を果たします。そのため、スポーツ情報提供の充実は、本市のスポーツ推進に重要な意味を持っています。

スポーツに主体的に取り組むために必要な情報は、スポーツの意義や効用の啓発に関する情報、市内のスポーツ施設の利用情報、スポーツイベントやプログラムなどの開催情報など、多岐にわたります。市民の誰もが、いつでも、簡単に必要な情報を入手できるよう、市民のスポーツに関するニーズの把握と、多様な情報内容や手段の充実が求められています。

また、スポーツ教室やスポーツ大学などのプログラムの認知度や、総合型地域スポーツクラブの認知度が低いことから、本市のスポーツ事業に関わる情報提供や啓発の充実に取り組みます。



(1) スポーツに関するニーズの把握・分析

スポーツの世界大会の開催やトップアスリートの活躍などは、人々のスポーツへの興味・関心を引き立たせます。

市民の関心のあるスポーツや取り組んでみたいニュースポーツ、参加してみたいスポーツ教室やイベントなど、市民のスポーツに関するニーズを把握・分析します。

① 市民のスポーツに関するニーズの把握・分析

【新規】

○市民が参加したいスポーツ教室やイベント、体験してみたいニュースポーツなど、市民のスポーツに関するニーズを把握・分析します。

(2) スポーツに関する情報提供の充実

市が主催するスポーツのイベント、行事及び教室や講座などをはじめとした、スポーツ推進に関わる様々な情報を、市政だよりやチラシ、ウェブサイトなど、多様な情報媒体を利用して、市民に提供します。

① スポーツ環境に関する情報提供

【継続】

○市内のスポーツ施設の利用方法や料金など、スポーツ施設に関わる情報提供の充実を図ります。
○ウェブ検索などによって、スポーツ施設の情報が誰にでもすぐ分かるようにします。

② スポーツ大会・行事・教室の開催情報の提供

【継続】

○市のスポーツ事業に関して、多様な情報媒体を利用し、市民への情報提供を充実させます。
○市内で行われるスポーツイベント・教室、講師などについて、関係機関からの情報をまとめて生涯学習情報誌などに掲載し、市民に情報提供を行います。

(3) スポーツ活動の啓発

スポーツの意義や効果の PR、地元選手や団体の活躍の紹介など、市民がスポーツに関心を持ち、スポーツライフを楽しめるよう、スポーツに関する様々な情報を提供することで、スポーツ活動の啓発に取り組みます。

① スポーツ活動の啓発

【継続】

○関係機関と連携し、スポーツ活動の啓発を行い、市民のスポーツ実施率の向上に取り組みます。

○地元選手・団体の活躍、活動の紹介や PR などを通じた、スポーツ活動の啓発を行います。



写真 学区交歓ソフトミニバレーボール大会の様子

第5章 計画の推進に向けて

5-1 推進体制

本計画の推進は、行政のみならず、市民、地域やスポーツ関係団体、学校、民間企業など、多様な主体が協力・連携を図ると同時に、それぞれが主体的なスポーツ推進の担い手となって取り組むことが重要です。そのため、以下の役割分担に基づき、各主体が、相互に連携しつつ、効果的な計画の推進を図ります。

(1) 行政

① 市民スポーツ課

計画推進の主管課として、市のスポーツ推進全体を視野に入れた状況把握及び施策の推進に努めます。また、市民及び団体に対する総合的な窓口としての機能を果たします。

② 他の関係各課

各分野における施策の方向性とのバランスを取りながら、本計画に位置づけられたスポーツ推進の基本理念を踏まえたスポーツ関連事業を推進します。

③ 施設管理者

各施設の利用者とのコミュニケーションに努めつつ、より利用しやすい施設運営に向けた工夫と改善に努めます。

(2) 団体

① (公財) 岡崎市体育協会

所属する各団体間の連絡調整を行うとともに、市が行うスポーツ推進施策及び事業に協力し、市民がスポーツを行いやすい環境づくりに努めます。

② 各種スポーツ団体

各団体の特性を活かしながら、様々なレベルの市民が楽しみながらスポーツを行える場と機会の充実に向けた取り組みを進めます。

③ スポーツ推進委員

市民が身近にスポーツに親しめるよう、ニュースポーツ教室・研修会の開催や、他の関係団体との連携により地域でのスポーツ活動を推進します。

④ 総合型地域スポーツクラブ

市民が総合型地域スポーツクラブに求める、多世代が気軽に参加することができ、それぞれのニーズに合わせて多種目から選択してスポーツを行うことができることを踏まえ、地域でのスポーツ活動を推進します。

⑤ 学校（小学校・中学校・高校）

児童・生徒の体力向上や運動機会を確保するため、学校体育や運動部活動の充実を図ります。また、学校体育施設のスポーツ開放を行い、地域の身近なスポーツ活動の場を提供します。

⑥ 大学・企業等

施設の開放や指導者の派遣、各種団体との連携によるスポーツイベントやスポーツ教室の開催など、それぞれの持つ施設、人的資源、情報などを活用し、市のスポーツの活性化を図ります。

5-2 評価・見直し

本計画は、現行計画の目標年次である平成31年度に向けた施策の推進を図るものです。

参考資料

参-1 スポーツに関する市民意識調査

(1) 調査の目的

「岡崎市スポーツ振興計画」の中間見直しを行うにあたり、市民の健康に対する意識、スポーツの実施状況や今後の意向、市のスポーツ推進施策への要望等を把握することを目的としました。

(2) 調査の期間

平成26年10月～11月

(3) 調査の対象

① 一般市民

住民基本台帳より市内在住18歳～79歳の男女4,000名（男2,000名、女2,000名）を年齢別に無作為抽出し、1,583名から回答を得ました。回答率＝39.6%

② 高校生

市内4高等学校2年生・計263名を対象としました。回答率＝100%

③ 中学生

市内7中学校2年生・計275名を対象としました。回答率＝100%

④ 小学生

市内7小学校5年生・計287名を対象としました。回答率＝100%

(4) 調査の方法

回答者自身が調査票へ直接記入・記述する調査方法としました。調査票は中綴じ全8頁・A4サイズ・モノクロを基本とし、1頁目に依頼文及び記入方法等を記載し、2頁目以降に設問を掲載しました。

(5) 回答者の属性

① 性別

N：2,408名(一般 1,583名 高校2年 263名 中学2年 275名 小学5年 287名)

| 区分 | 男性 | | 女性 | | 不明・無回答 | |
|-------|-------|------|-------|------|--------|-----|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 一般 | 684 | 28.4 | 866 | 36.0 | 33 | 1.4 |
| 高校2年生 | 136 | 5.6 | 121 | 5.0 | 6 | 0.2 |
| 中学2年生 | 151 | 6.3 | 118 | 4.9 | 6 | 0.2 |
| 小学5年生 | 148 | 6.1 | 138 | 5.7 | 1 | 0.0 |
| 計 | 1,119 | 46.5 | 1,243 | 51.6 | 46 | 1.9 |

② 年代

N：2,408名(一般 1,583名 高校2年 263名 中学2年 275名 小学5年 287名)

| 18歳未満 | | 18～29歳 | | 30歳代 | | 40歳代 | |
|-------|------|--------|------|------|------|--------|------|
| 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 825 | 34.3 | 160 | 6.6 | 201 | 8.3 | 242 | 10.0 |
| 50歳代 | | 60歳代 | | 70歳代 | | 不明・無回答 | |
| 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 236 | 9.8 | 349 | 14.5 | 371 | 15.4 | 24 | 1.0 |

③ 職業

N：2,408名(一般 1,583名 高校2年 263名 中学2年 275名 小学5年 287名)

| 会社員 | | 自営業 | | 公務員・教員 | | アルバイト・パート | | 主婦(夫) | | 大学生・専門学校生 | |
|-----|------|-----|-----|--------|-----|-----------|------|-------|------|-----------|------|
| 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 470 | 19.5 | 101 | 4.2 | 51 | 2.1 | 183 | 7.6 | 269 | 11.2 | 39 | 1.6 |
| 無職 | | その他 | | 不明・無回答 | | 高校生 | | 中学生 | | 小学生 | |
| 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 380 | 15.9 | 30 | 1.2 | 60 | 2.5 | 263 | 10.9 | 275 | 11.4 | 287 | 11.9 |

④ 居地

N：2,408名(一般 1,583名 高校2年 263名 中学2年 275名 小学5年 287名)

| 中央 | | 岡崎 | | 大平 | | 東部 | | 岩津 | |
|-----|------|-----|------|-----|-----|--------|-----|-----|------|
| 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 612 | 25.4 | 380 | 15.8 | 110 | 4.6 | 174 | 7.2 | 277 | 11.5 |
| 矢作 | | 六ツ美 | | 額田 | | 不明・無回答 | | | |
| 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | | |
| 330 | 13.7 | 238 | 9.9 | 130 | 5.4 | 157 | 6.5 | | |

参-2 策定・見直しスケジュール

| | 年月日 | 内容 |
|-------|---------------------------------------|--|
| 計画策定 | 平成 20 年 8 月 4 日 | 第 1 回岡崎市スポーツ振興計画策定委員会 ・スポーツ振興計画の概要説明・スケジュール等について ・スポーツ振興計画策定事業基礎調査（市民意識調査等）項目について |
| | 平成 20 年 10 月下旬 | 「スポーツに関する市民意識調査」の実施 |
| | 平成 21 年 3 月 2 日 | 第 2 回岡崎市スポーツ振興計画策定委員会 ・スポーツ振興計画策定事業基礎調査（「スポーツに関する市民意識調査」等）結果について ・スポーツ振興計画の全体構成（目次（案））について |
| | 平成 21 年 10 月 13 日 | 第 3 回岡崎市スポーツ振興計画策定委員会 ・スポーツ振興計画（素案）について（第 1 章～第 3 章） |
| | 平成 21 年 12 月 3 日 | 第 4 回岡崎市スポーツ振興計画策定委員会 ・スポーツ振興計画（案）について（第 4 章～参考資料） |
| | 平成 22 年 1 月 4 日 ～平成 22 年 1 月 4 日 | パブリックコメント |
| | 平成 22 年 3 月 1 日 | 第 5 回岡崎市スポーツ振興計画策定委員会 ・パブリックコメント結果について ・スポーツ振興計画（最終案）について |
| 中間見直し | 平成 26 年 10 月下旬 | 「スポーツに関する市民意識調査」の実施 |
| | 平成 27 年 8 月 3 日 | 第 1 回岡崎市スポーツ推進計画策定委員会 ・計画の改定について ・現行計画の成果と課題について |
| | 平成 27 年 8 月 18 日 ～平成 27 年 9 月 18 日 | パブリックコメント |
| | 平成 27 年 10 月 30 日 | 第 2 回岡崎市スポーツ推進計画策定委員会 ・パブリックコメントの結果について ・岡崎市スポーツ推進計画（案）の策定について |

参-3 委員会名簿

| 区分 | 団体名等 | 氏名 |
|-------|--------------------|-------|
| 【会 長】 | 愛知教育大学名誉教授 | 永田 靖章 |
| 【副会長】 | 愛知産業大学准教授 | 築瀬 歩 |
| 【委 員】 | 公益財団法人岡崎市体育協会理事長 | 三井 政昭 |
| | 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会会長 | 関 浩 |
| | 市民代表 | 土赤 光宏 |
| | 市民生活部長 | 小屋 裕正 |

岡崎市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

岡崎市スポーツ推進計画
(岡崎市スポーツ振興計画 中間見直し版)

平成 28 年 2 月

発行 岡崎市
編集 岡崎市市民生活部 市民スポーツ課
住所 〒444-8601 岡崎市十王町 2 丁目 9 番地
電話 (0564) 23-6363
FAX (0564) 23-7182
H P <http://www.city.okazaki.lg.jp/>

